



学校教育目標 「三根中学校に誇りを持つ生徒を育てる ～自主・自律・寛容の態度形成を通して～」
生徒会スローガン「誠心誠意！自律心溢れる三根中学校 ～みんなで語り合い未来を創る生徒会～」

第57回三根中学校体育大会 青空のもと、笑顔がはじけました 【大会スローガン】「橙 ～混ざり合って、生まれる光～」



力強いソーラン節：黄団も赤団も、練習の成果を精一杯に披露した5分間

5月21日（土）、青空の下で体育大会を行うことができました。黄団と赤団が、5日間の短い練習期間に競い合い高め合って、大会当日は、素晴らしい演舞や競技する姿を見せてくれました。今年の大会スローガンは、「橙～混ざり合って、生まれる光～」。このスローガンどおり、黄色と赤色の団を超えた橙の光に輝いていた生徒たちでした。

今年の体育大会を通して、生徒たちがどんなことを思ったり考えたりしたのか……、体育大会後に書いた作文から、いくつか紹介します。（※紹介している作文は、一部省略等しています。）

【1年生】

○ 私が一番頑張ったことは、ソーラン節です。動きにメリハリをつけてよりかっこよく見せようとしたところと声を出して戦力になろうと頑張ったところです。「一人一人大きな声を出して！！」と注意された時、これから頑張ろうと目標を立てて取り組みました。体育大会の中で学んだことや経験を日常でも生かしていきたいです。

○ 体育大会を通して、いろんなことを感じました。一つは、「3年生のために」です。1年生は初めてで、3年生は最後。小学6年生の時に、低学年の中で絶対勝ちたいと思っている人は少ないのかなと思いました。だからこそ、中学校では3年生のためにという思いを強めて体育大会に取り組めてよかったです。



1年生：勢いよくGo！「台風の目」

【2年生】

○ 今回の体育大会では、本気で競技を行いながら、赤団・黄団関係なく、みんなで楽しむことができたと思います。練習の時は、チームリーダーを中心にたくさんの意見を出すこと

ができました。体育大会本番では、黄団の人でも敵だからといって無視せずに、たくさんの笑顔で話しました。「終わった後は、本当の笑顔」ということを先生たちに言われていて、本番で本当の笑顔で終わったので、よかったです。



2年生:気持ちを合わせてジャンプ!
「大縄跳び」

- 今回の体育大会を、とても充実したものにすることができました。それは、何よりも3年生のおかげだと思います。3年生は、ソーラン節や演舞を丁寧に分かりやすく教えてくれました。部活動も、先輩たちは、パネルを作りに行っていて遅れて来ていました。3年生はすごいなと思い、同時にとても感謝しています。当日、私は「勝ちたい」という気持ちもありましたが、「3年生に優勝をプレゼントしたい」という気持ちが一番大きかったです。来年は、自分が尊敬されるように頑張りたいです。

【3年生】

- 結団式の時、僕は、「全員が笑って終われる体育大会にしたい」と言いました。そこから一週間、誰一人として、ふざけて練習している人はいなかったし、本当に良い体育大会になったなと思っています。それも、後輩が、今までついてくれたからだと思います。3年生だけじゃできないこともあったと思うので、後輩には、本当に感謝しなきゃいけないと改めて思わせてくれる体育大会でした。



3年生:足と心を合わせて「百足競争」

- 1、2年生が、厳しい地獄の一週間の中しっかりついてきてくれて、無事、ソーラン節で優勝できて達成感にあふれました。最後の解団式ではトロフィーや賞状を持って、一週間キツかったけど、みんなで頑張ってくれてよかったです。自分の中で濃い思い出がまた一つ増えて、充実した半日になりました。



最後まで力の限り、全力疾走!

【決勝審判(3年生)の目から】

- 体育大会で学んだことは、「頑張る人はかっこいい」ということです。私は、決勝審判の係をしていて、100Mや400Mを走った人たちがゴールするのを見ていました。1位でゴールする人も最後でゴールする人も、みんな全力で最後まで走っていて、頑張っている姿がものすごく伝わってきました。

保護者の皆様、ご近所の皆様、ご協力ありがとうございました!

体育大会当日は、コロナ対策のため、来賓の方に参観をご遠慮いただいたり、保護者様の参観人数を制限したりしましたが、ご協力いただきありがとうございました。

また、練習期間中と大会当日、生徒たちの練習の声や音楽等でご近所の皆様にはご迷惑をおかけしました。温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。